

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年12月27日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100583
法人名	医療法人甲和会
事業所名	グループホームなごみ
所在地	鹿児島県鹿児島市甲突町24-16 (電話) 099-224-3106
自己評価作成日	令和3年11月20日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	-----------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和3年12月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームなごみは、福島内科医院が併設され、緊急時対応がスムーズに行えるようにしています。場所は、四季折々の様子が感じられる甲突川沿いにある施設です。甲突川沿いに車椅子対応のループもあり、散歩を個々の体力に合わせてリハビリも兼ねて実施しています。地域の方々との関わりを大切に考え、交流会なども開催し、地域の中で自立した生活が出来るように支援しています。家族、知人、友人などの面会もあり、入居者様の普段の生活や生活歴の情報から、気持ちに寄り添う支援に繋がるように努力しております。ユニットリーダーを中心に職員間で各入居者様の支援について情報を提供し合い、職員の経験を活かして支援しています。外部のレクリエーションは、担当者が計画を立てて、多角的に検討し、ご家族の協力も得ながら事故のないように参加者全員が楽しんでいただけるように行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、鹿児島市甲突地区の市街地に、平成22年に開設され、法人母体の医療機関(内科)やデイサービス事業所に併設されている。周辺には小学校やコンビニ、スーパーマーケット、大小の民間企業、個人住宅等が立ち並び、道路を隔てて甲突川が流れており堤防の桜並木や人の往来が窓から眺められている。協力医療機関とは、日頃から密に連携を図って治療や健康管理を徹底しており、24時間医療連携体制も構築されて、利用者や家族の安心に繋がっている。

利用者の多くが同地区からの入所であり、また、地域密着型事業所として開設以来、地域との交流を大切に取組んでいる。自治会に加入して六月灯や運動会等の地域行事へ参加し、日頃の散歩時の挨拶や施設見学、ボランティア、友人知人の面会、児童センター等との交流を積極的に受け入れており良好な関係を構築しているが、コロナ禍に配慮して、現在はイベント等への参加は自粛している。

管理者及び職員は、ホームの理念を玄関やリビング等に掲示して周知を図り、「あるがままの貴方にそっと寄り添い、利用者の思いに沿った支援」を常に意識して、尊厳や人格を大切にケアに努めている。利用者及び家族からの意向や要望を、ケアの中や面会、電話、ライン、タブレットで汲み取り、職員会議等で協議して改善を図っており、家族との信頼関係が築かれている。利用者の心身の状態や生活習慣、ペースに配慮し、意向に沿って趣味(裁縫、ぬり絵、ゲーム、テレビ視聴他)などの個別の支援にも努めるなど、利用者主体の生きがいのある暮らしとなるよう取組んでいる。

管理者及び職員は、日頃から気軽に意見を言い合える信頼関係を構築しており、日頃の業務の中や申し送り、職員会議で意見や要望を出し合い、個人的な事情にも配慮しながらサービスの向上や働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。法人の評価制度では自己の目標に対する評価や個人面談を行ってスキルアップを図っている。管理者は、日常的にケアに対する助言・指導や研修の実施、資格取得へのバックアップ等に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「あるがままの貴方にそっと寄り添う」の理念を念頭に、地域の中での生活を実践できるように施設内の各所に理念を掲示し共有に努めています。	「利用者が地域の中で家族との絆を大切にしながら、あるがままのあなたに寄り添うケア」を理念に掲げており、ホームの玄関やリビングなど目に付きやすい場所に掲示し、申し送り時に唱和も行って意義を共有している。ケアカンファレンス等で振り返りや意見交換を行って理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の児童センターや小学校との交流や町内会へ参加し、地域の行事参加を行い交流を図っています。	ホーム近辺からの入所者が多いこともあり、地域との交流を大切にしている。自治会に加入して六月灯などイベントへの参加や外出時の地域のひととの挨拶、ボランティアの受入れなど交流は円滑にできていたが、現在は、コロナ禍に配慮してイベントへの参加やボランティアの受け入れ等は控えている。感染予防対策を徹底したうえで、面会は10分以内で居室又はリビングで実施し、買い物は個別に支援している。募参や外食、理・美容室へは家族の同行で実施し、七夕やクリスマスには児童センターの児童が飾り物を持参してくれるなど、可能な限り交流に努めており、利用者の楽しみとなっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	近隣との限られたものではあるが、地域の児童センターとの交流や町内会や地域行事の参加を行う交流を図っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の民生委員、町内会、ご家族、通所介護事業所、長寿安心センターからの意見や助言を聞き、支援の質の向上に活かしています。	従来、会議は家族や民生委員、町内会長、長寿安心センター等が出席して隔月毎に開催し、ホームの行事や利用者の状況、ヒヤリハット等の報告や感染症予防等への意見交換を行い、運営やサービスの向上を図ってきたが、現在はコロナ禍に配慮して一堂に会することは控え、委員に資料を送付して意見等をもらって改善に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	長寿安心センターとの連携を図り、運営推進会議などで状況報告や情報交換の場としています。	市の担当者とは、介護保険の更新や各種制度の申請、報告に関すること、ケアに関する相談、感染症予防に関する協議等を行って指導や助言、提案等をもらうなど日頃から密に連携を図り、協力関係を築いてサービスの向上に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月1回、身体拘束委員会を開催し、入居者様の現状把握と情報の共有をして、絶対に拘束しないケアに努めています。	身体拘束や高齢者虐待の防止については、計画的に研修を実施して理解に努め、対応を共有している。適正化を図る身体拘束委員会も毎月開催して身体拘束の無い、また、見逃さないケアに取り組んでいる。特にスピーチロックに対しては常に留意しており、職員間でも注意し合って改善を図るなど、利用者が自由な暮らしが送れる様な支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修や入浴時のボディチェックを行い、外傷の有無を確認し、虐待が見過ごされないように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度を利用されていた入居者様の経験をもとに、管理者や研修に参加した職員を中心に情報共有し、制度への理解を深めるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退去時の契約は書面を用いて個別に面談を行い、十分な理解と納得が得られるように時間をかけて丁寧な説明に努めている。また、内容変更の際も同様に行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族との面会や電話連絡時、運営推進会議参加の際に意見や要望を引き出せるように努めている。また、ipadを用いて家族との意見交換を行っています。	日頃の関わりの中で利用者の思いを汲み取り、家族からの意見や要望等は面会や電話、ライン、タブレット等で把握している。出された要望等は職員全員で共有し、申し送りや職員会議等で検討して改善を図っており、検討結果については家族にも報告して理解を得ている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常業務の中で各ユニットリーダーが意見を拾い上げ、要望を法人内での会議を経て検討し、運営に反映しています。	管理者及び職員は、日頃からコミュニケーションに努め信頼しあえる人間関係を構築しており、日頃の業務の中や職員会議、申し送り、定期的な自己評価、個人面談等で、意見や要望等を出し合って改善に努めている。勤務シフトには有給休暇の取得や個人的な事情にも配慮し、業務に関する助言指導や資格取得へのバックアップに努めるなど、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人内の評価制度を利用し、年1回個人面談を行い、個人目標を掲げスキルアップに努めている。その際、意見や要望も確認し、職場の環境整備に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>日頃のコミュニケーションや意見交換、グループホーム内部の研修を掲示し積極的な参加を募るようにしています。また、個々の職員の力量や実績、」努力を理解しスキルアップ出来るように努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営推進会議に他のグループホームと相互参加し、意見交換を行い、サービスの質の向上に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居支援前に先入観を持たず、関係作りの入居前面談を行うようにしています。その際、ご本人、ご家族の思いや、不安に思っていることを聞き取り、職員間で情報の共有を図り、安心して生活が出来るように工夫しています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>契約時に、ご家族、ご入居者様の環境変化に伴う不安や思いを伺い、支援開始後も支援の問題解決を協力できる関係作りに努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>支援を開始するにあたって、ご家族とスタッフ間でカンファレンスを開催します。ご家族の思いも尊重しながら、入居者様が安心・満足できる支援を考え対応しています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者様の経験や人生観を踏まえて、出来る限り自己判断して頂き、共に支え合う関係を築いていけるように心掛けています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と入居者様の絆を思い、大切なご家族を介護させて頂いていることを念頭に置き、行事への参加や面会時の会話、相談を経て、共に支えていく関係を築けるように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご親戚やご友人の方が面会に来やすいような雰囲気作りに努め、思い出の写真や品物を飾って頂いています。また、地域の行事への参加を通じて、近隣の方々との関係作りに努めています。	コロナ禍により制限も多い現状であるが、感染予防対策を行ったうえで近辺の散歩や家族との面会、個別での買い物、馴染みの理美容室での整髪等に取り組んでいるが、ドライブや一時帰宅、会食、ボランティアの受け入れ等は控えている。家族との墓参や外食を支援し、電話や手紙の取り次ぎ、また、園便りも送付して利用者の状況を伝える等、関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様一人ひとりの性格や思い（言葉で表現できないことも含む）を把握し、問題解決に努めています。また、日常生活やレクリエーションを通じて会話がし易い雰囲気作りに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	出合いを大切にし、退去後もご家族に連絡を取り、近況をお聞きして良い関係作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	認知症によって、自分の要望を伝えられない方に対しては、日常の行動や会話からくみ取り、希望や意向の把握に努めています。	利用開始時の本人や家族、関係者からの情報や日々の会話、表情、サイン等から利用者の思いの汲み取りに努め、家族の意向も確認しながら利用者主体のケアに取り組んでいる。認知症を患ってもその人らしい生きがいのある生活となるように、意向に沿って趣味（裁縫、ぬり絵、パズル他）や食事の準備や洗濯物たたみ等の家事の取り組みも残存能力に応じて個別に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やご本人から、生活歴や職業歴などの情報を収集し、趣味や得意な事を把握して、それらを活かした環境作りに努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の生活パターンを把握した上で尊重し、ご本人の残存機能を活かした支援を行っています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画が現状に即しているかを主治医や看護師の意見を参考にして会議等で話し合い、アイデアを出し合ってより良い方法を検討していくなど、見直しを行っています。	利用者や家族の意向を把握し、主治医の指示やカンファレンス、モニタリング時の職員の見解を基に、残存機能や習慣、趣味等にも配慮した介護計画を作成している。利用者の状況変化時には実態に沿った計画に変更し、利用者や家族の理解も得て改善に取り組んでおり、実施状況は申し送りや業務日誌、ケース記録等で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の身体状況や認知症の状況把握に努め、情報を共有出来るように努めています。朝夕の申し送り時には、実践の結果気づき等を報告し、情報の共有を図っています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>定期的な内科の訪問診療、ニーズに応じた眼科や歯科の往診を行えるように連携を図っています。また、訪問マッサージ、ボランティア、訪問散髪等を受け入れるなど柔軟な支援を取り組んでいます。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>児童センターや地域の行事に積極的に参加し、閉ざされた施設内だけの生活にならないように努めています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時にかかりつけ医を確認し、法人内の定期的な訪問診療の他に必要に応じて往診を行うなど医療連携を図っています。</p>	<p>本人・家族が希望する医療機関での治療を支援しているが、殆どの利用者が協力医療機関を主治医としている。主治医や歯科の通院及び訪問診療が実施され、他科受診は家族の協力も得ながら実施している。協力医療機関とは常に連携を図り、また、日頃から看護職員を中心に衛生や健康管理を徹底しており、健康状態は家族にも密に報告することで利用者及び家族の安心や信頼に繋がっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>法人内や施設の看護師と連携を取り合い、定期的な訪問診療以外の変化、緊急時はすぐに報告し指示を受け対応しています。また、その時々には指導を受けた場合は、情報の共有を行い、職員の意識や知識の向上に努めています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は、主治医、看護師、ケアマネジャーからの紹介状やサマリーにて情報を交換し、早期治療がスムーズに行えるように支援をしています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に入居者様が重症化した際の看取りに関する方針を説明し同意を得ています。また、変化があった際は、その都度ご家族に再確認をしています。また、主治医とも連携し、職員間の研修やカンファレンスを行い、チームでの支援に努めています。</p>	<p>入所時に利用者及び家族に重度化や看取りの対応については、ホームで出来ること、出来ないこと等の説明を行い理解を得ている。利用者の状態変化に応じて家族と話し合いや意向確認を行い、主治医や看護師と連携してホームで可能な限り希望に沿ったケアの体制で取り組んでいる。本年度も1件の看取りを実施しており、看取り終了後は、ケアの振り返りや意見交換を行って、スキルアップや不安感の軽減を図っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>内部研修を行い、施設の看護師から緊急時や初期対応の指導を日常的に受け、実践できるように努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>緊急時のマニュアルは、職員が常時見ることが出来る場所に置いています。また、年2回夜間想定を含めた消防訓練・災害訓練を消防署や関係機関との協力のもとに行い、家族・地域の方にも参加して頂き、緊急時の対応に備えています。</p>	<p>年2回（うち1回は消防署立ち合い）夜間災害も含む火災を想定した防災訓練をデイサービス事業所と合同で実施しており、災害に関する講話や消火器等の取扱い等も研修している。日頃から避難経路の確認や報道された災害事例を基に意見交換するなど、災害に対する認識を共有している。訓練には、従来、家族や地域の人にも参加してもらっているが、コロナ禍に配慮して今年度は職員と利用者として実施している。スプリンクラーや自動通報装置等が設置され、災害時の食料・飲料水、介護用品も備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇、倫理観に関する内部研修を行い、人格の尊重、尊厳、プライバシーや個人情報について学び、入居者様がその人らしい暮らしを続けられるように支援しています。	プライバシーの確保や個人情報の取扱いについては日頃から認識を共有し、利用者の尊厳や人格を損ねるような言動を行わないように心がけ、利用者の人格やプライドを尊重した言葉遣いやケアに取り組んでいる。特に排泄や入浴、衣服の着脱時の声掛けは羞恥心にも配慮したトーンに努め、居室への入室時は必ずノックするなど礼節を大切にしている。ホームはプライバシー保護に配慮した構造で、利用者のケアに係る帳票等も適切に管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	現状の把握が出来にくい入居者様にはなるべく自己決定が出来るように状況説明を丁寧に行っています。また、日々の生活の会話の中で、本人の希望や思いを理解するように心掛けています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の思いやペースを大切に職員側の考えが主観にならないように、常に入居者様が心地良く出来ることをして頂くように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	整髪や髭剃りは、可能な限り本人の残存機能で行えるよう環境を整えています。また、自己決定の難しいかたも声掛けを工夫したりして、その方の思いを大切にして支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事中は楽しい雰囲気になるように心がけています。また、メニューに対して入居者様や職員から意見を取り上げ反映するようにしています。また、利用者様の可能な範囲で準備や後片付けを手伝ってもらおうよう支援しています。	利用者の身体機能や嗜好、形態、季節感、アレルギー等に配慮したメニューを毎月、給食委員会も開催して工夫し、ご飯と汁物はホームで調理を行い、副菜は法人全体で調理されたものが届いている。利用者も準備や片付け等を楽しみながら行っている。季節の行事食や誕生祝い、敬老会、クリスマス会等には希望のメニューを取り入れ、手作りのおやつ等、食事が楽しみとなるように工夫している。食事や水分の摂取量も利用者ごとに把握し、口腔ケアもプランに組み込み支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各入居者様の食事量・水分量を記録し、職員が把握し個別に支援を行っています。また、必要に応じて補助飲料、補助食品を提供するなど支援を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後は毎回口腔ケアを行い、義歯の洗浄や口腔内の異変がないかを観察しています。また、異常があった際は、家族・訪問歯科と連携を行うよう対応しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人からの訴えや、排泄チェック表を参考にして排泄パターンを把握したうえで声掛け等を行い、可能な限りトイレでの排泄が出来るように支援を行っています。	利用者の自尊心や習慣、羞恥心等に配慮し、身体の状態や排泄パターンに応じた支援に努めている。昼間は声掛けや誘導等で可能な限りトイレでの排泄を支援し、介護用品やケアの方法をプランに反映させて取り組んでいる。便秘の予防に食事や水分の摂取量、運動量に配慮して自然排便に努め、状況によって主治医の指導も受けて対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便が出来るように排泄パターンを把握し、必要に応じて担当医や看護師からの指導にて対応しています。また、適度な運動、水分補給が出来るように支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	外部評価		
			自己評価	実施状況	実施状況
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的に週2回の入浴日を設定していますが、気持ちや体調等を踏まえて柔軟に対応しています。また、入浴の場を重要なコミュニケーションの場として考え、ゆっくりとさせていただけるように支援を行っています。	基本週2回の入浴を支援しているが、排泄時の汚染等には、その都度保清に努めている。順番や好みのシャンプー、温度、時間、同性介助等は意向に沿って柔軟に、また、職員との会話を楽しみながら個浴でゆっくり入ってもらい、入浴後は水分補給や皮膚疾患の手当を支援している。入浴をためらう利用者には、時間や声かけ等を工夫し清拭や足湯での対応も行うなど、無理強いしないで可能な限り利用者の意欲に沿って支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣や体調等の状況に応じて声掛けを行い、就寝や休息のパターンを考慮しながら寝たきりにならないように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	担当医の受診後の処方箋確認を申し送りにて内容把握しています。また、配薬、服薬前後、空袋と4回チェックを行い、飲み忘れや誤薬をしないように取り組んでいます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各入居者様の生活史の中で継続して出来る趣味、残存機能を使用して出来るレクリエーションを毎日の生活の中で取り入れた支援を行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	当施設内の庭の散歩や近所のスーパーへの買い物に同行したりして、ご本人の希望に添えるように支援しています。また、入居者様と一緒に地域の行事へ参加するなど支援しています。	地域のイベントの多くが中止され外出の機会が減少している現状であるが、園周辺の散歩や近くのスーパーマーケットへの買い物等を感染予防や天候、体調に配慮しながら支援している。外出が十分に実施できないため、リビングでの歌や運動、ぬり絵、折り紙、ビデオ鑑賞などレクリエーションを工夫して気分転換を図っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の金銭管理は預かり金として保管させていただき、買い物等に行き、ご本人に品物を選び購入して頂けるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族からの電話の際には、ご本人にお繋ぎしています。ご本人からの希望がある場合は、ご家族に職員より連絡して、電話や面会が出来る環境づくりをしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた壁面の飾り付け等を行い掲示しています。また、行事等で撮影した写真を掲示し閲覧して頂くことで、ご本人が行事の振り返りが出来るような環境づくりに努めています。	明るく余裕あるスペースのリビングは季節感のある壁画やクリスマスツリーなどの飾り物、イベント時の写真、利用者の作品等が飾られて和やかで落ち着いた雰囲気になっており、窓から見える甲突川の桜並木で四季を感じ、また人の往来を楽しみながら過ごしている。利用者の動線に配慮してソファやテーブルセット、テレビ等が設置され空調や整理整頓も徹底されており、利用者は自由に平穏な日々を過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間のホールで計算問題や色塗り、パズル等をされたり、入居者様同士でお話しされたりと自由な時間を過ごされています。また、居室内でテレビを鑑賞されたり休まれたり出来るように支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時の居室づくりをする時から、ご本人の使い勝手を考慮して、使い慣れた衣類や道具を取り扱いし易いようにしています。また、ご家族の写真等は、特に目のつきやすい場所に飾ったりして工夫しています。</p>	<p>フローリングに 掃き出し窓の居室にはベランダが設置されている部屋もあり、ベッド、エアコン、タンス、吊戸棚が備えてある。居室入口の名札は、フルネームや名前のみ、又は非表示など利用者の意向に沿って掲げている。利用者は家庭で愛用していたテレビや寝具、家族写真、位牌、仏壇、小物等を持ち込み、自身の作品や頂いた品物も配置して、その人らしい寛げる環境となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個々の入居者様の残存機能から出来ることをしたいという気持ちを尊重し、見守りと支援を行っています。その際、転倒防止を含むリスク管理に十分配慮し、かつ安全確保に努めた支援を行っています。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない